

2011年3月18日

日本の次世代リーダー養成塾 東北地方太平洋沖地震に伴う支援

全国の高校生を選抜して、将来の日本のリーダーになる人材を育成するため、福岡県宗像市で毎夏、2週間のサマースクールを行っている「日本の次世代リーダー養成塾」(塾長は米倉弘昌・(社)日本経済団体連合会会長)は、東北地方を中心に起こった巨大地震の緊急支援として、被災を受けた高校生以下の青少年向けの義援金を募ります。また、今後、被災地から一時避難してくる高校生以下の青少年に対しての受け入れ支援をします。

日本の次世代リーダー養成塾は、2004年から始まり、これまでに1000人以上の卒業生を世に送り出しています。茨城県以北の被災地域からは、岩手県72人、宮城県27人、山形県25人、青森県10人、福島県3人、茨城県2人、秋田県1人の合計140人が参加しました。現在、事務局では、安否確認を行っていますが、まだ、連絡のつかない卒業生もいます。

日本の次世代リーダー養成塾の卒業生から「自分の仲間はもちろんだが、同じ高校生が被災して苦しんでいる姿に自分たちでできる支援をすぐに始めたい」との声が事務局に多数寄せられ、このほど、塾で培った精神をもとに高校生・大学生ができる支援を順次していくこととなりました。支援の詳細は以下のとおりです。

1. 義援金

日本の次世代リーダー養成塾では、被害に遭われた卒業生(高校生)を含めた青少年を支援するため義援金を集めます。集まった義援金は福岡県を通して被災地に送ります。

卒業生による街頭募金活動を、博多駅前広場(博多口)で、3月19日(土)20日(日)の両日とも13時から15時まで行います。

また、銀行振込でも義援金を受け付けます。振り込み先は

三菱東京UFJ銀行銀座支店 普通口座0100038

「東北地震義援金口 日本の次世代リーダー養成塾 事務局長 加藤暁子」

2. 一時避難してくる青少年向けの支援

【ホームステイ支援】

福岡県を中心に卒業生の家庭でホームステイ先をみつけます。すでに7家庭からホームステイを受け入れたいとの申し出があります。今後、態勢が整い次第、卒業生家庭だけでなく他のNPO法人と連携して、広く一般にも呼び掛ける予定です。一般の問い合わせ先は、下記を参照ください。

現在、NPO法人「子どもの村福岡」と連携して青少年への支援を行うことで協議しています。このほか、他団体とも順次協力していきたいと思えます。

【イベント】

被災地から一時避難してきた青少年が参加できる、心が安らぐコンサートや映画上映、また、ゲームやスポーツなどのイベントを随時企画、運営していきます。

一時避難した青少年は、地震への恐怖に加え、保護者から離れて心細い思いをしています。少しでも不安を取り除ける取り組みをしたいと思います。

【家庭教師】

一時避難した青少年の家庭教師をします。

避難先で通学する青少年は、慣れない環境のなかで、勉学にも不安を抱いています。卒塾生が、小学生から高校生までの家庭教師をします。

【本、参考書、文房具支援】

本、参考書、文具、漫画などを卒塾生から集めて、一時避難した青少年に提供します。また、被災地で必要であれば、被災地の青少年にも送ります。

3. 問い合わせ先

【一般の方からの問い合わせ】

日本の次世代リーダー養成塾事務局 担当：立花

TEL. 03 - 5466 - 0804 メールアドレス info@leaderjuku.jp

また、塾ホームページ(<http://leaderjuku.jp/>)に、義援金及び被災青少年への支援について掲載していますので、ご覧ください。

日本の次世代リーダー養成塾事務局

〒107-0062 東京都港区南青山5 - 12 - 28 - 403

TEL. 03 - 5466 - 0804

ホームページ <http://leaderjuku.jp/>

メールアドレス info@leaderjuku.jp